

ディーラーマニュアル

ロード	MTB	トレッキング
シティツーリング/ コンフォートバイク	アーバンスポーツ	E-BIKE

ハブセット (ディスクブレーキ)

SLX

HB-M7000
HB-M7010
HB-M7010-B
FH-M7000
FH-M7010
FH-M7010-B

FH-MT400
FH-MT400-B
FH-MT500
FH-MT500-B
FH-MT510
FH-MT510-B

Eスルーアクスル12 mm

SM-AX56
SM-AX56-B
SM-AX58
SM-AX58-B

DEORE

HB-M618
HB-M618-B
HB-M6000
HB-M6010
HB-M6010-B
FH-M618
FH-M618-B
FH-M6000
FH-M6010
FH-M6010-B

HB-M4050
HB-MT400
HB-MT400-B
FH-M4050

目次

重要なお知らせ	3
安全のために	4
使用工具一覧	7
取付け	9
スポークの編み方	9
ディスクブレーキローターの取付け	9
メンテナンス	12
フロントハブ	12
フリーハブ	14

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全てのマニュアル・技術資料はウェブサイト <https://si.shimano.com> でご覧いただけます。
- インターネットのご利用が難しいお客様から、印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。シマノ代理店またはシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

警告


「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

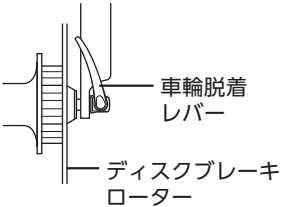
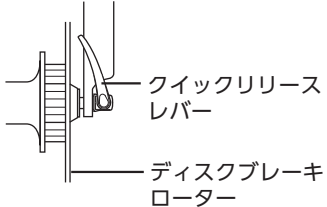
「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書の指示に従う。
その際、シマノ純正部品を使用してください。製品や交換部品が不適切に組立て、調整されていると、製品の不具合を招き、転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、適正な眼の保護具を着用する。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 乗車前に車輪が固定されていることを確認する。
転倒して大けがをすることがあります。
 - 乗車前にはハブ取付軸に亀裂がないかどうか十分確認し、不具合を発見した時は使用を中止する。
このハブはダウンヒル、フリーライド用に設計されていません。走行状況によりハブ取付軸に亀裂が入ります。結果、軸が折れて転倒し重傷を負ったり死亡事故につながるおそれがあります。
 - 手のひらを使って車輪脱着レバーを力いっぱい強く締めても、車輪脱着レバーがディスクブレーキローターに干渉しない事を確認する。
ディスクブレーキローター側に車輪脱着レバーがある場合はディスクブレーキローターと干渉するおそれがあり危険です。ディスクブレーキローターに干渉する場合は使用を中止して販売店または代理店へご相談ください。
- 
- HB-M7010/M7010-B/M6010/M6010-B/M618/M618-B/MT400/MT400-Bは専用のフロントフォークおよび固定軸との組み合わせでのみ使用する。
それ以外のフロントフォークおよび固定軸との組み合わせでは、自転車の乗車中に車輪が自転車から外れ、重傷を負うことがあります。
 - FH-M7010/M7010-B/M6010/M6010-B/M618/M618-B/MT400/MT400-Bは専用のフレームおよび固定軸との組み合わせでのみ使用する。
それ以外のフレームとの組み合わせでは、自転車の乗車中に車輪が自転車から外れ、重傷を負うことがあります。
 - 手のひらを使ってクイックリリースレバーを力いっぱい強く締めても、クイックリリースレバーがディスクブレーキローターに干渉しないことを確認する。
ディスクブレーキローター側にクイックリリースレバーがある場合はディスクブレーキローターと干渉するおそれがあり危険です。ディスクブレーキローターに干渉する場合は使用を中止して販売店または代理店へご相談ください。
- 
- 車輪を取付けにくい場合はクイックリリースレバーをディスクブレーキローター側にセットする。
その場合、クイックリリースレバーとディスクブレーキローターとの干渉や、やけどに注意してください。
 - クイックリリースハブを自転車に正しく取付ける。
さもないと自転車の乗車中に車輪が自転車からはずれ、重傷を負うおそれがあります。
 - クイックリリースレバーの取扱説明書はよく読んだ後、いつでも確認できる状態にしておく。

自転車への組付け、整備に関する事項

- 前車輪をフロントサスペンションフォークに取付ける際は必ずフロントサスペンションフォークの取扱説明書に示している指示を守る。
前車輪の固定方法と固定トルクはそれぞれのフロントサスペンションフォークによって異なります。取扱いが適切でないと前車輪が脱落して重傷を負うおそれがあります。フロントサスペンションフォークの取扱説明書の前車輪の固定トルクにしたがって締付けると車輪の回転が重たくなることがありますが、フロントサスペンションフォークの取扱説明書の指示にしたがってください。
- 弊社製ハブ取付軸を使用する。
フリーハブの固定力の不足あるいは軸強度が弱いと軸の破損によって車輪が外れ大けがをするおそれがあります。
- ディスクブレーキの取扱説明書もよくお読みになった後、いつでも確認できる状態にしておく。

■クイックリリースタイプ

- 車輪脱落防止機構付フロントフォークを使用する。

⚠ 注意

自転車への組付け、整備に関する事項

- シマノ専用工具 (TL-FC36) でディスクブレーキローター取付けリング脱着時、保護手袋を着用し、手がディスクブレーキローター外周部に触れないよう注意する。
手を切る可能性があります。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 材料および製造において生じた不具合以外の、走行中のジャンプあるいは転倒などで発生した製品の損傷は保証しません。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

自転車への組付け、整備に関する事項









- 車輪の回転が重たくなった場合はグリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- Eスルーアクスル製品交換の際は、フレームに付属しているEスルーモデルと同じモデル名のものご使用ください。
異なるモデルの場合、軸長、ねじサイズ、ハウジング径などが異なって、フレームに正しく取付かない場合があります。
- フロントハブを振れ取り台にセットするときはTL-HB16を使用してください。
- SM-AX56/SM-AX56-B/SM-AX58/SM-AX58-Bはダウンヒル、フリーライド用に設計されていませんので使用できません。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

使用工具一覽

使用工具一覧

製品の取付け、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

工 具		工 具		工 具	
	10 mm六角レンチ		17 mmハブスパナ		TL-FC36
	TL-FH15		22 mmハブスパナ		TL-LR15
	13 mmハブスパナ		モンキレンチ		

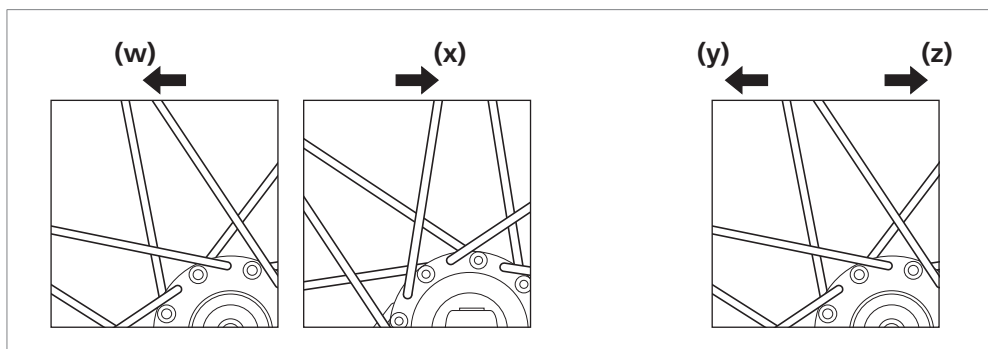
取付け

取付け

■ スポークの編み方

スポークが図のように組まれていることを確認してください。
ラジアル組はできません。

車輪回転方向



(w) 前用：左 (ディスクブレーキローター) 側

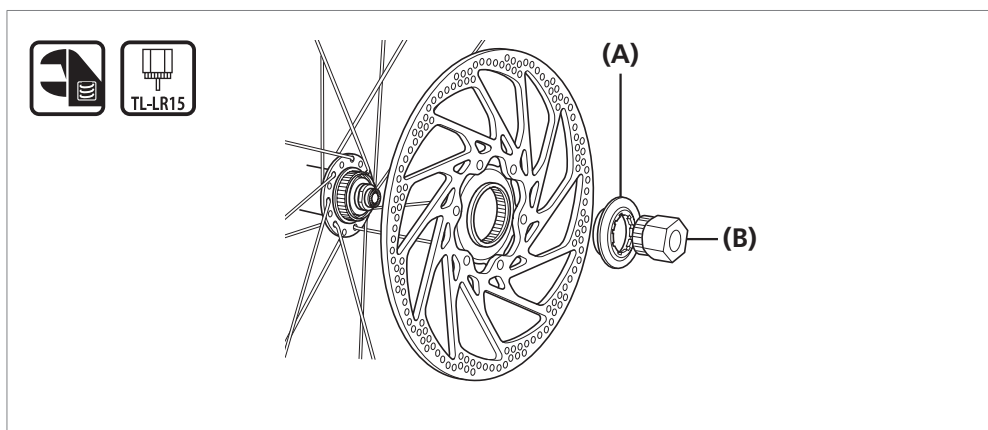
(x) 前用：右側

(y) 後用：左 (ディスクブレーキローター) 側

(z) 後用：右 (スプロケット) 側

■ ディスクブレーキローターの取付け

クイックリリースタイプ



(A) ディスクブレーキローター取付け用ロックリング

(B) TL-LR15

締付けトルク

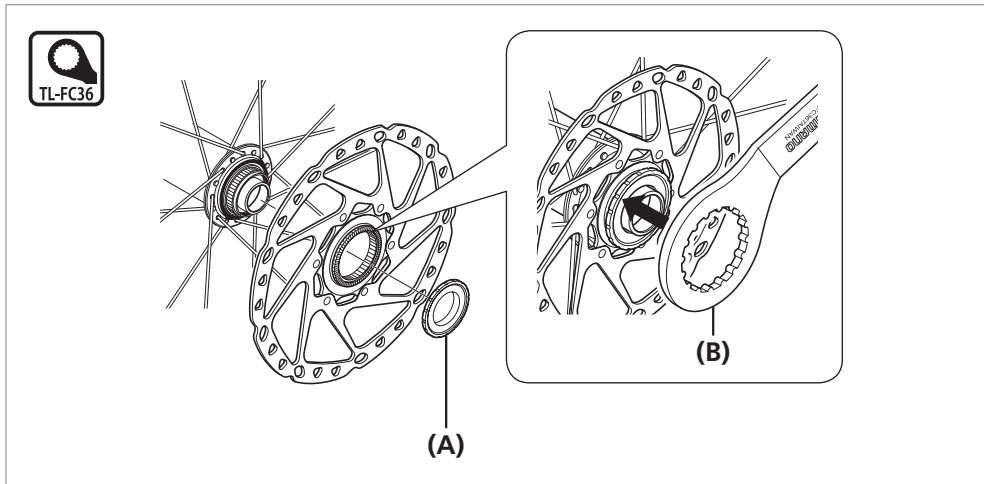


40 N·m

取付け

▶ ディスクブレーキローターの取付け

Eスルーアクスルタイプ



(A) ディスクブレーキローター
取付け用ロックリング

(B) TL-FC36

締付けトルク



40 N·m

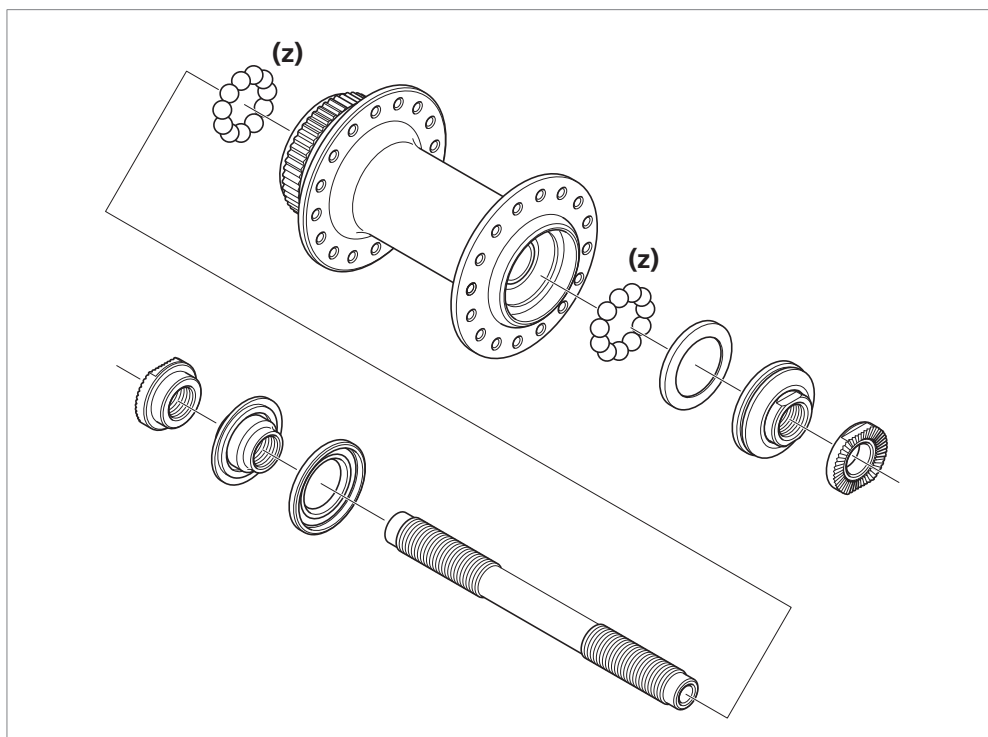
メンテナンス

メンテナンス

ハブは図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。

■ フロントハブ

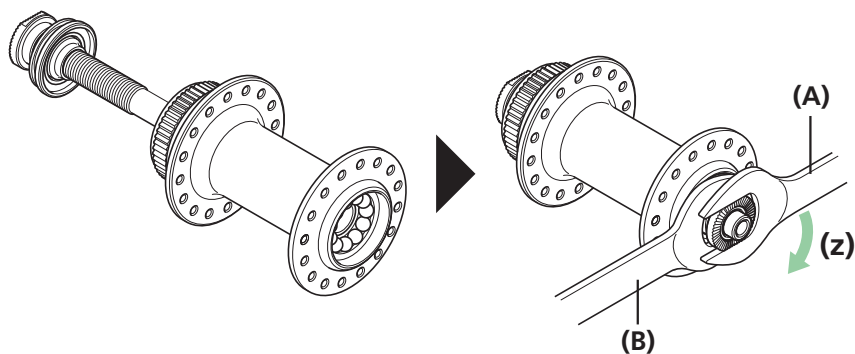
HB-M7000/M6000/M4050



(z) グリス塗布：
 プレミアムグリス
 (Y-04110000)

組立

図のようにハブ軸を取付け、ハブスパナを使用してロックナットを締付け、ダブルロックしてください。



(z) 締付け

(A) 17 mmハブスパナ

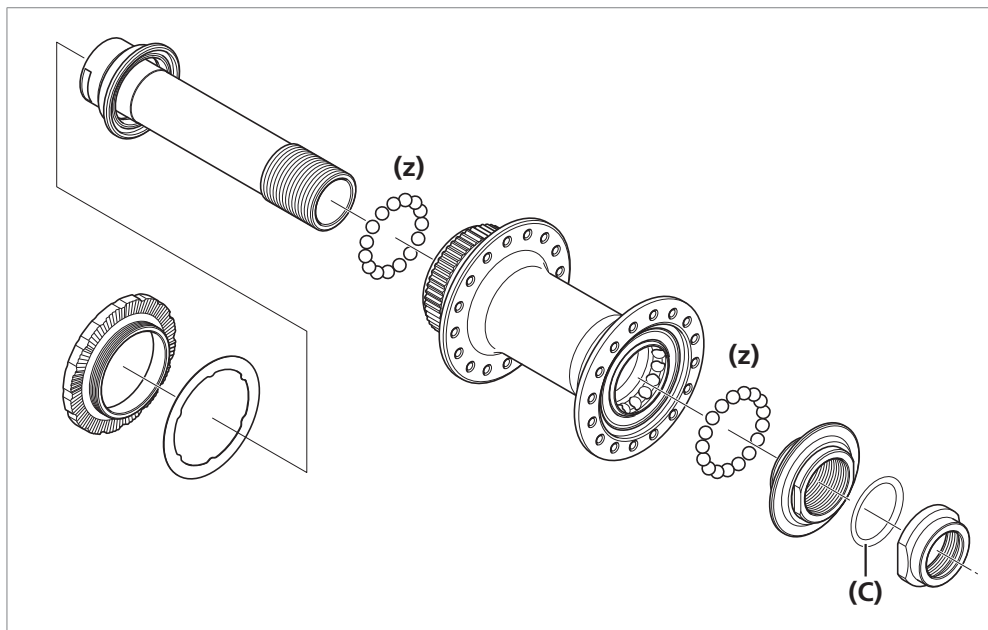
(B) 13 mmハブスパナ

締付けトルク



10 - 15 N·m

HB-M7010/M7010-B/M6010/M6010-B/M618/M618-B/HB-MT400/HB-MT400-B

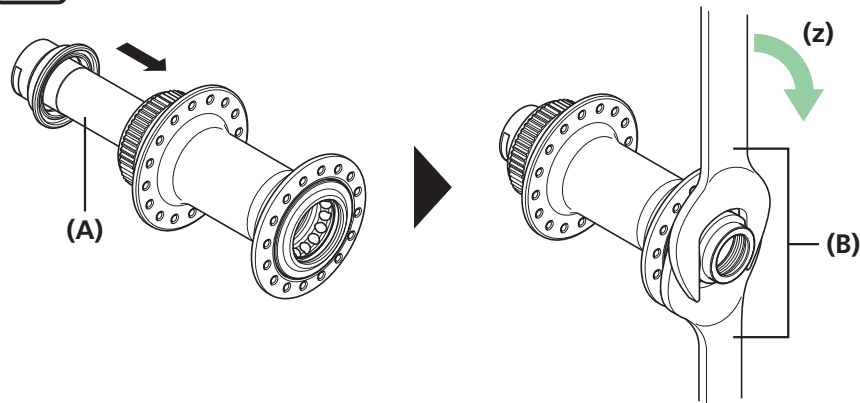


(z) グリス塗布：
プレミアムグリス
(Y-04110000)

(C) 調整間座 (ハブによっては、
調整間座がない場合があります。)

組立

図のようにハブ軸を取付け、ハブスパナを使用してロックナットを締付け、ダブルロックしてください。



(z) 締付け

(A) ハブ軸

(B) 22 mmハブスパナ

締付けトルク



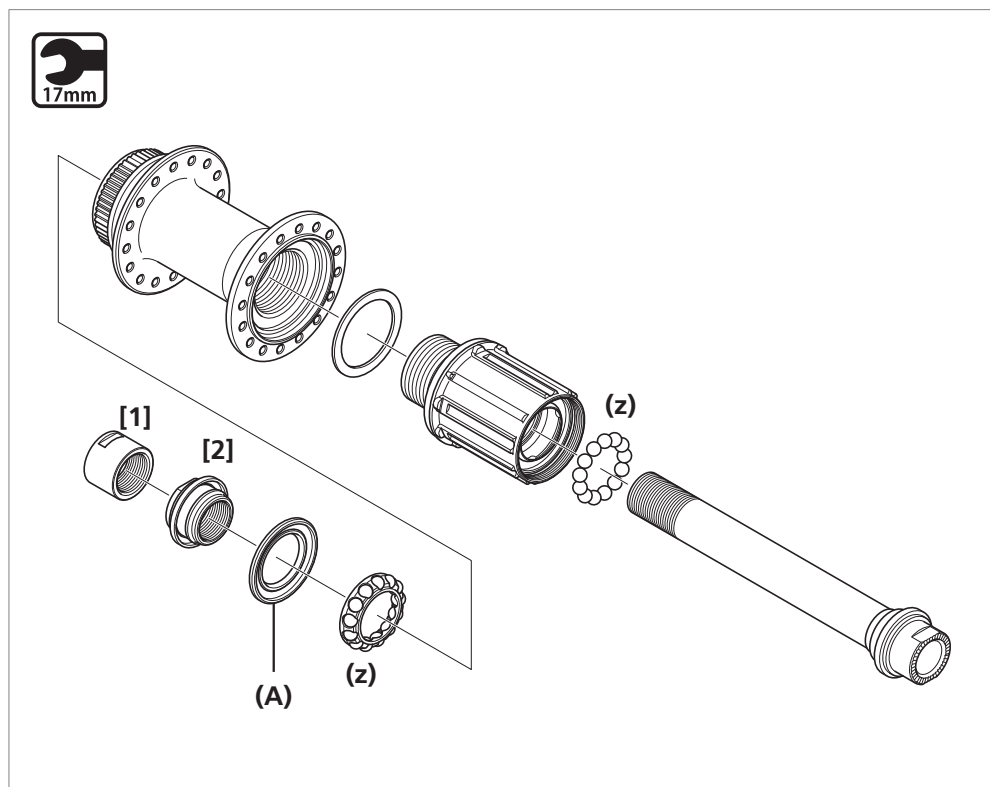
21 - 26 N·m

■ フリーハブ

使用上の注意

- シール部の脱着は変形に十分気をつけて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りまで組付けてください。
- 軸、右ナットおよび玉押しにかしめている防水カバーは分解しないでください。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

FH-M7010/M7010-B/M6010/M6010-B/M618/M618-B/FH-MT400/FH-MT400-B



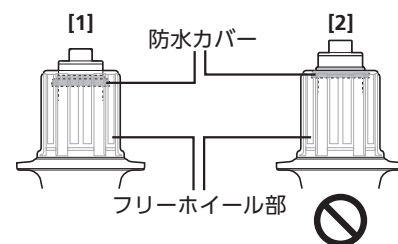
(z) グリス塗布：
プレミアムグリス
(Y-04110000)

(A) シール (リップ部が外側)

使用上の注意

イラスト[1]のように、防水カバーがフリーホイール部に隠れる状態が正しい位置です。

防水カバーがイラスト[2]のような状態の場合は、再度組み直してください。

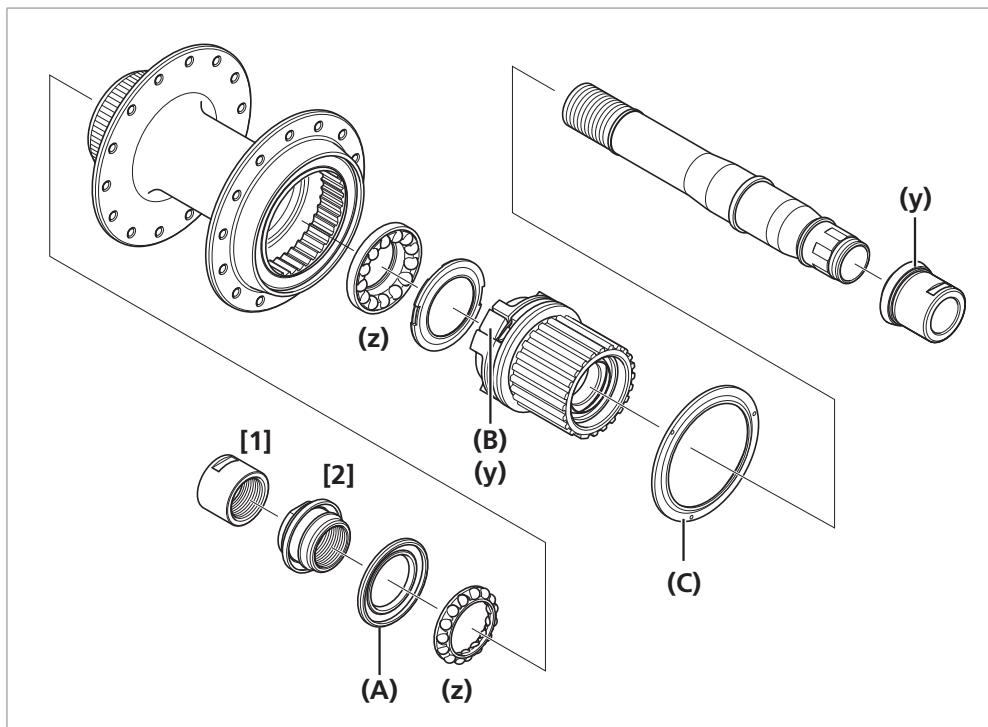


	部品名	ねじタイプ	使用工具	締付けトルク
[1]	左ロックナット(M15)	正ねじ	17 mmハブスパナ	15 - 20 N・m
[2]	左玉押し(M15)	正ねじ	17 mmハブスパナ	-

組立

組立ては、フリーホイール部の交換の逆の手順で行ってください。

FH-MT500/FH-MT500-B/FH-MT510/FH-MT510-B



(y) グリス塗布：
フリーハブ専用グリス
(Y-3B980000)

(z) グリス塗布：
プレミアムグリス
(Y-04110000)

(A) シール (リップ部が外側)

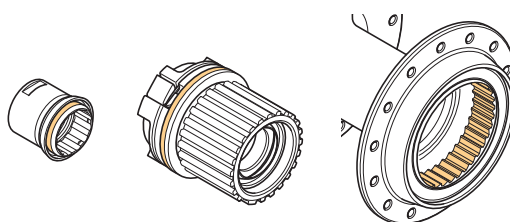
(B) フリーホイール部

(C) アウターシールキャップ
(内径の凸部が外側)

	部品名	ねじタイプ	使用工具	締付けトルク
[1]	左ロックナット(M15)	正ねじ	17 mmハブスパナ	15 - 20 N·m
[2]	左玉押し(M15)	正ねじ	17 mmハブスパナ	-

使用上の注意

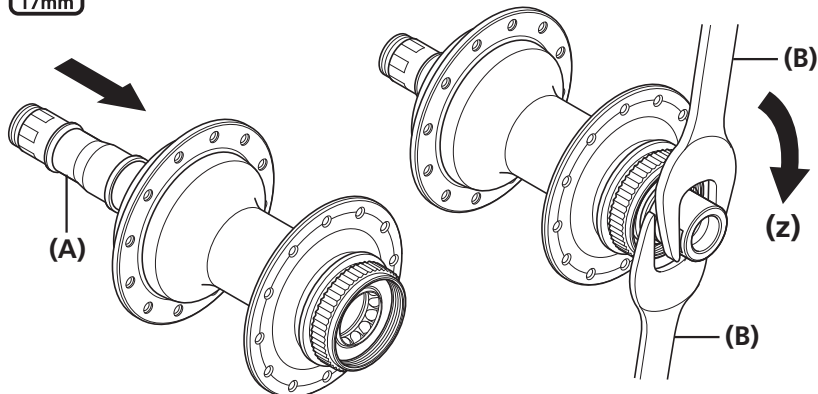
- フリーホイール部を取外した際の組立ては、組立て手順通りに行ってください。
- フリーホイール部には専用グリスを塗布してますので他のグリスと混ぜないでください。フリーホイールのクラッチ部の動作不良の恐れがあります。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。
- フリーハブ専用グリスは図の部分に塗布してください。



組立

図のようにハブ軸を取付け、ハブスパナを使用してロックナットを締付け、ダブルロックしてください。

1



(z) 締付け

(A) ハブ軸

(B) 17 mmハブスパナ

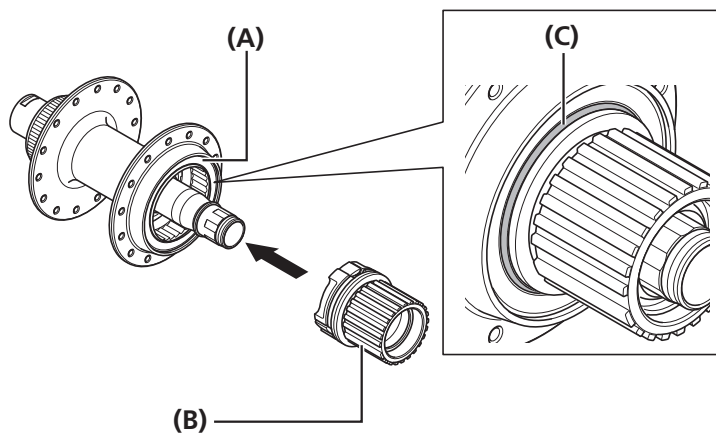
締付けトルク



15 - 20 N·m

フリーホイール部を取付けてください。
フリーホイール部を取り付けた際、シールリングのリップが裏返っていないか確認してください。

2



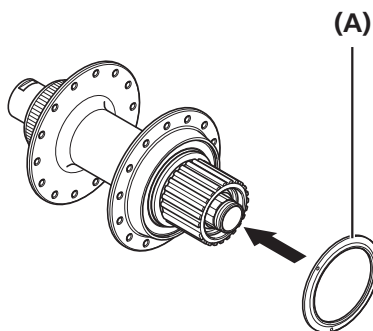
(A) シールリング

(B) フリーホイール部

(C) リップ

アウターシールキャップを溝部にはめ込み、取付けてください。

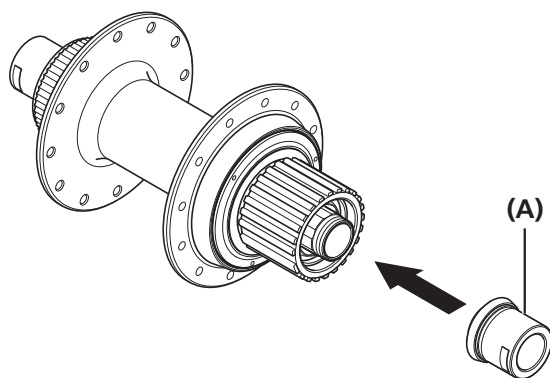
3



(A) アウターシールキャップ

4

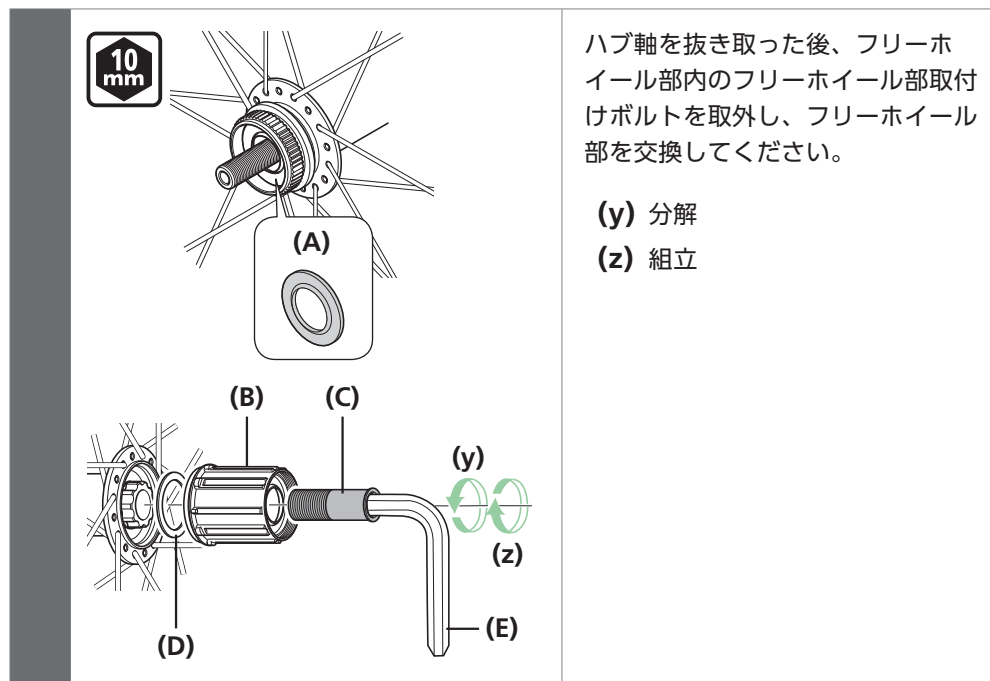
右キャップを取付けてください。
クリック感を伴うまで押込んでください。



(A) 右キャップ

フリーホイール部の交換 (QRタイプの場合)

FH-M7000/M6000/M4050



ハブ軸を抜き取った後、フリーホイール部内のフリーホイール部取付けボルトを取外し、フリーホイール部を交換してください。

(y) 分解

(z) 組立

(A) シール (リップ部が外側)

(B) フリーホイール部

(C) フリーホイール部
取付けボルト

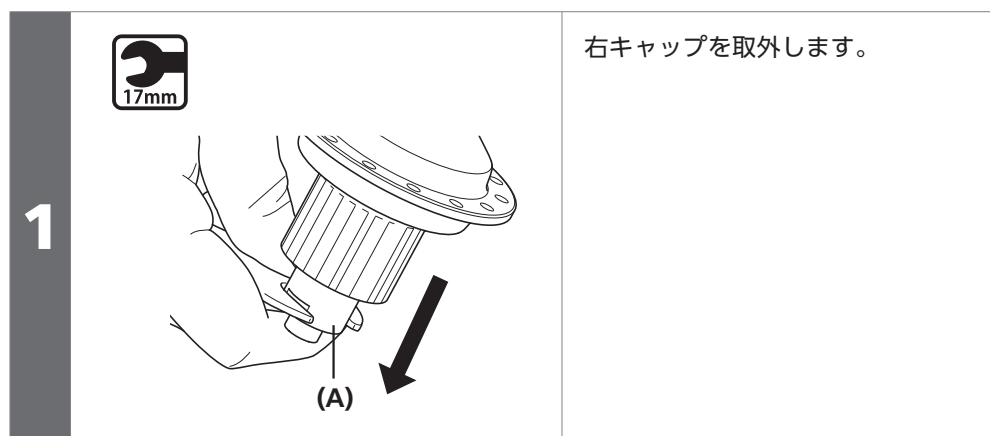
(D) フリーホイール部当り面間座

(E) 10 mm六角レンチ
(TL-WR37)

締付けトルク

	35 - 50 N·m
--	-------------

FH-MT500

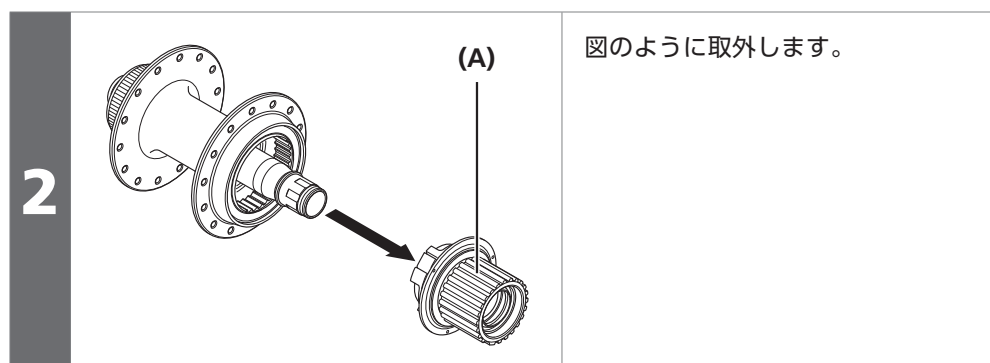


右キャップを取外します。

(A) 右キャップ

使用上の注意

- 取外した際に右キャップが落下するのを防ぐ為、下を向けて右キャップを押さえながら行ってください。



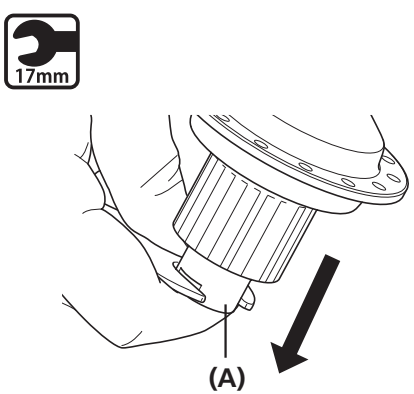
図のように取外します。

(A) フリーホイール部

フリーホイール部の交換 (Eスルータイプの場合)

FH-MT510

1



17mm

(A)

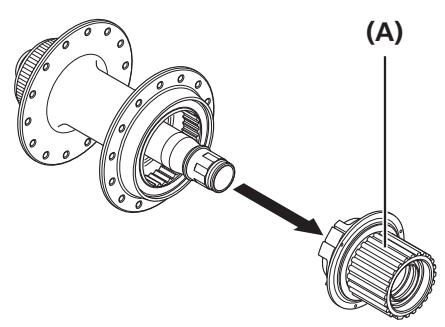
右キャップを取外します。

(A) 右キャップ

使用上の注意

- 取外した際に右キャップが落下するのを防ぐ為、下を向けて右キャップを押さえながら行ってください。

2



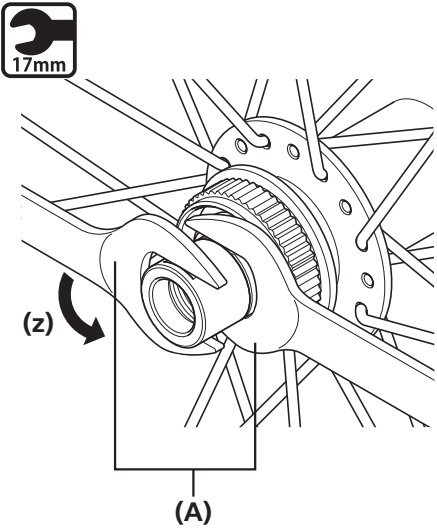
(A)

図のように取外します。

(A) フリーホイール部

FH-MT510以外

1



17mm

(z)

(A)

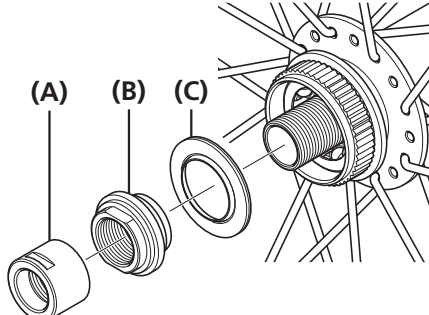
スパナを使用して、ダブルロック部のロックナットをゆるめます。

(z) 分解

(A) 17 mmハブスパナ

締付けトルク	
	15 - 20 N·m

2

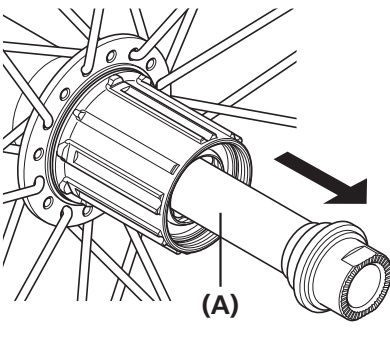


(A) (B) (C)

図のように取外します。

- (A)** ロックナット
- (B)** 防水カバー付玉押し
(分解不可)
- (C)** シールリング

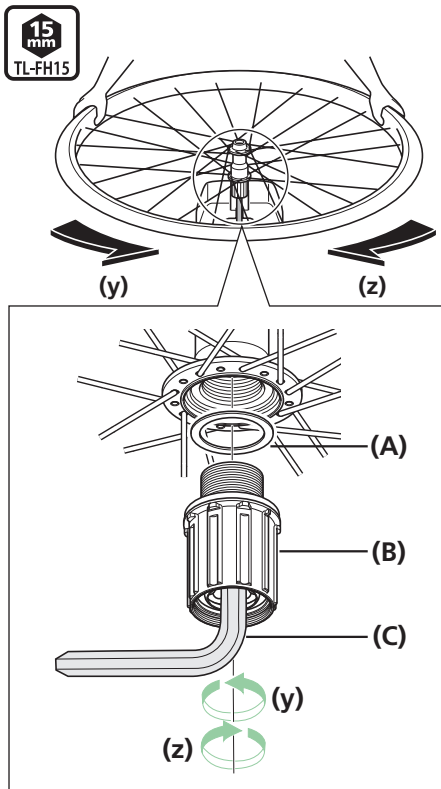
3



(A)

フリーホイール部側からハブ軸を抜き取ってください。

(A) ハブ軸



ハブを抜き取った後、フリーホイール部内のフリーホイール部取付けボルトを取外し、フリーホイール部を交換してください。

TL-FH15をフリーホイールユニットにはめ込んだ状態で固定し、ホイールを回してください。

(y) 分解

(z) 組立

- (A) フリーホイール部当り面間座
- (B) フリーホイール部
- (C) TL-FH15

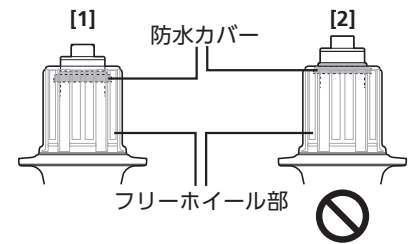
締付けトルク



150 N·m

使用上の注意

- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。
- イラスト[1]のように、防水カバーがフリーホイール部に隠れる状態が正しい位置です。防水カバーがイラスト[2]のような状態の場合は、再度組み直してください。





製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地